

新規小麦品種 ‘シロガネコムギ’ の施肥体系

農林水産研究所

‘シロガネコムギ’ は ‘チクゴイズミ’ に比べ短稈で穂数が多く、収量は ‘チクゴイズミ’ 並の品種です。



図 小麦2品種の成熟期の草姿
※2022/12/15播、2023/5/23撮影

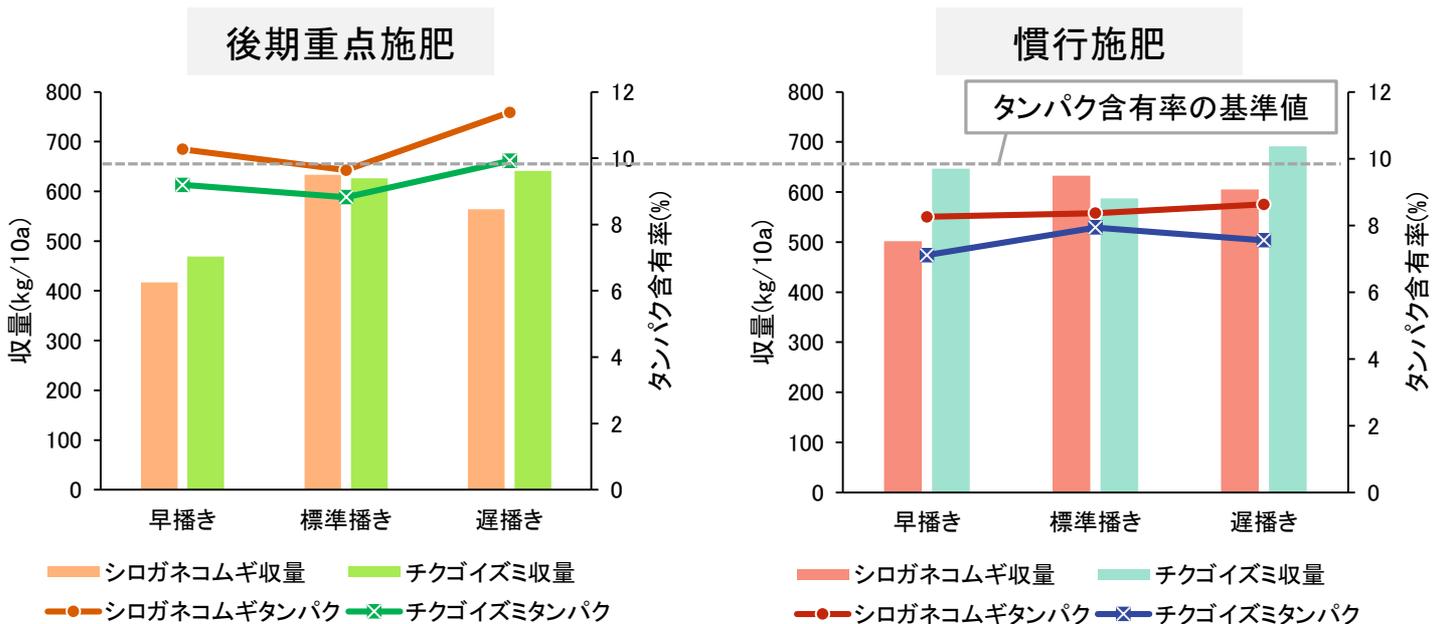


図 播種期を変えたときの収量とタンパク含有率 (2023年産)

※後期重点…基肥N4-穂肥N4-実肥N4kg/10a、慣行…基肥N7-中間追肥N2-穂肥N3kg/10a
早播き…11/7播 標準播き…11/16播 遅播き…12/15播

○標準播きの収量が安定して高い
○後期重点施肥では、慣行よりも収量がやや低下する可能性があるが、タンパク含有率は基準値をクリアできる